

2018年3月10日(火)

## HTB制作のドキュメンタリー 「カムイの鳥の軌跡～オオジシギ2つの物語～」 第5回グリーンイメージ国際環境映像祭 審査委員特別賞

HTB制作のドキュメンタリー「カムイの鳥の軌跡～オオジシギ2つの物語～」(2017年8月放送・北海道ローカル)が、2018年の第5回グリーンイメージ国際環境映像祭で準大賞にあたる「審査委員特別賞」を受けました。2017年度科学放送高柳賞の「最優秀賞」に続く受賞です。

「湿原を守る」という明快なメッセージをアイヌ民族の神話を交えて分かりやすく伝えたこと、科学的なアプローチにより渡り鳥が飛び立つ気象条件について番組独自の仮説を提言したこと等が評価されたもので、過去最多の応募作品となる214作品(53の国と地域)から名誉ある受賞となりました。

本作は北海道とオーストラリアの約1万キロメートルを渡る小さな鳥「オオジシギ」の渡りの謎に迫った番組。2016年夏、日豪の鳥類研究者が小型衛星発信機をオオジシギに装着し世界で初めて渡りのルートを解明するとともに、アイヌ民族に伝わるオオジシギの伝説を最新の科学技術で明らかにすることにより、健全な水辺の重要性をはじめ、地球規模での生態系保全と国際協力の重要性を伝えた作品です。

【受賞番組】 HTB ノンフィクション「カムイの鳥の軌跡～オオジシギ2つの物語～」  
【放送日時】 2017年8月14日(月) 9:55～10:50(55分枠 北海道ローカル)

ナレーション	萩原 聖人(俳優) 森 さやか(HTBアナウンサー)
ディレクター	山上 暢(HTB)
撮影	石田 優行(HTB)
編集	上田 佑樹(miruca)
プロデューサー	沼田 博光(HTB)

「グリーンイメージ国際環境映像祭」とは  
1992年から21年間続いた国際環境映像祭を前進とし2013年に創設。地域文化・生活や多様性を考える場として、映像文化と実践・教育を両輪として開催される映像祭。環境をキーワードに国内外の環境映像を上映、顕彰するもので、アニメーションからドキュメンタリーまで、幅広いジャンルの作品を審査対象にしています。2018年の映像祭は3月23日～25日で開催され、最終日に審査委員会で決定した各賞が発表されました。